

低炭素地域づくり面的対策推進事業 (大阪府彩都地域)

- 地域概要 彩都西部地区(大阪府茨木市・箕面市)
- 計画人口:西部20,000人(平成20年12月末現在 6,237人、2,142世帯)
- 面積:313ha(西部地区)



排出量ベースラインが低い新世代型ニュータウンにおいて、地球温暖化対策の先駆的モデルとして2050年長期における温室効果ガス半減に向け、民生家庭・民生業務・運輸部門の取組に関し、シミュレーションと社会実験により効果的な方策を検討する。

彩都＝新世代型ニュータウン、環境配慮まちづくりの推進、ライフサイエンス研究機関・企業の集積

[スケジュール]

平成20年度

7月～1月末

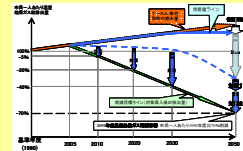
事業2 運輸部門対策導入調査 (モーダルシフト)

- 電動補助付き自転車のレンタサイクル社会実験(10台、40名)
- 乗合自動車の社会実験(100名)



事業1 CO₂排出構造の詳細把握 &排出量算定と目標の検討

- 住民、企業へのアンケート(民生部門、交通部門)とCO₂排出構造の詳細把握
- 目標の検討



事業3 民生部門対策導入調査 (エコポイント)

- 省エネ機器の導入促進(エコポイントの社会実験)
- 新規住宅購入者向け方策検討(ハウスメーカー連携エコポイントの可能性調査)
- その他事業可能性検討



エコポイント

- 低炭素化を進めるきっかけとしてのしくみづくり



[対象地域の位置]



12月～2月末

事業4 事業効果のシミュレーション

- 独自のモデルを使って2050年長期における温室効果ガス50%以上を削減するためのシミュレーション

平成21年度

シミュレーション
フィードバック

運輸部門
(レンタサイクル、乗合自動車、EV等)

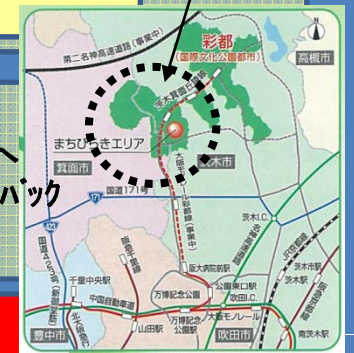
実証事業の実施

運営体制づくり
(エアーマネジメント等)

民生部門
(省エネ機器導入促進、LED、エコポイント等)

計画へ
フィードバック

計画とりまとめ、事業化の検討



2050年半減に向けた先駆的(全国ベース概ね2020年以降相当)取組のモデル提案

実施主体: 彩都低炭素タウン推進協議会

(問い合わせ先: 事務局(株式会社地域計画建築研究所(アルパック)): 電話06-6942-5732)

大阪府、茨木市、箕面市、彩都(国際文化公園都市)建設推進協議会、独立行政法人都市再生機構、彩都スタイルクラブ、有限責任中間法人彩都ヒルズ倶楽部、大阪大学、大阪ガス株式会社、大阪高速鉄道株式会社、関西電力株式会社、三洋電機株式会社、株式会社地域計画建築研究所(アルパック)、阪急不動産株式会社、株式会社ヤマダ電機

